

## 地域情報（県別）

### 【福井】「病気になる前に出会うため」カフェとジムも入った複合施設オープン-紅谷浩之・医療法人社団オレンジ理事長に聞く◆Vol.2

2023年3月17日 (金)配信 m3.com地域版

「患者と早く出会いたい」と在宅クリニックに続いて外来診療所も運営する医療法人社団オレンジ（福井市）。つながりづくりをさらに進めようと思ったのが、クリニックだけでなくカフェとジムも入った複合施設「つながるベース」だ。カフェでは看護師の資格を持つスタッフがリーダーを務め、ジムのトレーナーは全員が理学療法士であり訪問でのサービスに力を入れる。紅谷浩之理事長に開設の経緯や施設の特徴を聞いた。（2023年2月18日オンラインインタビュー、計3回連載の2回目）

▼第1回はこちら

▼第3回はこちら



紅谷浩之氏（法人提供）

——医療法人社団オレンジは2022年12月、クリニックとカフェ、メディカルフィットネスジムが入居する複合施設「つながるベース」を開設しました。

2016年に外来診療所「つながるクリニック」を開いた当初から建て替えの必要性を感じていました。病気になる前から地域の人と出会いたいと考えていた私たちにとって、昔ながらの診療所ではつながりや交流が自然に生まれづらいうらと思っていました（詳細はVol.1を参照）。

クリニックを新しくしつつ地域の人と出会える場をつくるにはどうすれば良いだろうかと、5年ほど前からミーティングを重ねました。「温泉施設はどうか」「工具を置いて日曜大工ができるスペースを設けては」などさまざまなアイデアがスタッフから上がるなか、私が重視したのは「いかに思いを込めて運営を継続できるか」でした。

「あったらいいよね」と言うのは簡単ですが、いざ自分が運営に携わるとなった場合、「正直そこまでの思い入れがない……」ケースは往々にしてあると思います。「大切なのは思いだ」とスタッフと共有して話し合った結果、残った案がカフェとジムでした。



つながるベースの外観（法人提供）

——カフェとジムの運営に思いのある人たちがいたと。スタッフにオンラインで施設の中を見せてもらったところ、部屋の壁にはガラスがはめこまれ、全体を見通せるようになっていますね。

つながるベースは平屋建てで、つながるクリニックと「みいつカフェ」、ジム「WAKE（ウェイク）」がそれぞれ隣接する形で入居しています。ガラスを通してほかの部屋の様子を見ることができます。

こういったハード面の特徴がつながりを促進するといいですね。患者さんがカフェに来たらクリニックになじみの看護師の姿が見えたので手を振った、時間が合ったので一緒にお茶をした。予防接種を受けにクリニックに来た子どもが目を向けると、カフェが見えた。お母さんが「ここで頑張ったらあっちに行ってデザートを食べようね」と声をかける、といったような。

——新聞記事によると、カフェでは看護師が働いているとか。

看護師の資格を持つスタッフがリーダーを務めています。当法人は2012年に医療的ケア児の支援施設「オレンジキッズケアラボ」を福井市に開設したのですが、施設利用者や地域の人のために2020年にカフェ（まあるカフェ）も開いており、そちらと合わせて18人のスタッフがカフェの仕事に携わっています。

「クリニック併設だから健康志向」と思われるかもしれませんが、私たちはつながりづくりを大切にしているので、あくまで一般的なカフェとして利用してもらいたいと考えています。提供するメニューはスタッフがアイデアを出しており、野菜がたくさん入ったサラダボウルや発酵ドリンクなどヘルシーなものもありますが、「見るからに病院食」という感じにはならないよう留意しています。「健康的だから」というより、「楽しいから」「おいしいから」足を運びたくなるカフェに成長していきたいです。



天井が高く広々としたみいつカフェ（法人提供）

——ジムのスタッフは理学療法士として医療機関に勤めていた経験があると記事に書かれています。ホームページを見ると、訪問もしていますね。

トレーナーの3人は皆、理学療法士でもあります。このジムは訪問でのサービスをメインとしており、施設のスペースと器具は最小限に留めています。いろいろな器具を使って体を鍛えるというより、利用者の生活環境をうまく活用してトレーニングしていただくことを大切にしています。自宅にある椅子を使って有効な筋力トレーニング法を学ぶ、といったことです。

ジムに通い続けるのではなく、自分の体や身近な環境を使ってトレーニングできるようになった方が良いと思うので、まずはジムで試しにトレーニングしてもらい、次回からは自宅でのトレーニング方法を学ぶ、それが身についたら卒業、というかたちが望ましいのではないのでしょうか。希望があればジムの継続利用も可能です。



カフェと接するメディカルフィットネスジム「WAKE」（法人提供）

——ジムのコンセプトは自宅での生活を支える在宅医療に通じるものがあると感じました。複合施設の開設からまだ2カ月ですが、うれしい兆しは。

既にスタッフ発案のイベントが始まっているのは良いことだと思います。まだ手探りですが、地域の人が医師と気軽に話せる場を設けたり、ウォーキングや草花の手入れなどを行ったり。「まだ地域主体になっていない」と気にするスタッフがいるかもしれませんが、私としては「まずはスタッフが楽しんだり面白がったりできることを行うのが大切」と考えています。こういった活動がエネルギーとなり、やがて地域の人たちを巻き込んでいけるとうれしいですね。

#### ◆紅谷 浩之（べにや・ひろゆき）氏

2001年福井医科大学（現福井大学医学部）卒。救急医療やへき地医療などを経験し、2011年に在宅医療に注力する「オレンジホームケアクリニック」を開院。「地域の人と早くつながりたい」と2016年に外来診療所「つながるクリニック」を、2022年にクリニックとカフェ、ジムが入居する複合施設「つながるベース」を開設した。医療法人社団オレンジ理事長。

【取材・文＝医療ライター庄部勇太】

記事検索

ニュース・医療維新を検索

